

1.	③	11.	②	21.	②	31.	①	41.	③
2.	②	12.	④	22.	③	32.	③	42.	④
3.	①	13.	④	23.	③	33.	③	43.	②
4.	③	14.	③	24.	②	34.	④	44.	③
5.	④	15.	②	25.	④	35.	②	45.	②
6.	①	16.	①	26.	①	36.	①	46.	②
7.	②	17.	②	27.	④	37.	①	47.	④
8.	③	18.	②	28.	④	38.	③	48.	③
9.	③	19.	④	29.	②	39.	①	49.	①
10.	④	20.	③	30.	④	40.	①	50.	②

1.

解答 ③

【解説】

正解は③「for free」です。例えば、「You can get this drink for free.」（この飲み物は無料で手に入ります）のように使います。①「for sale」は物が買える状態にあること、②「on sale」は物が通常より安い価格で売られていること、④「for rent」は物が支払いをすれば一定期間使える状態にあることを意味します。

◆補足：free 単体でも「無料の」という意味になります。例えば、「free drinks」（無料の飲み物）のように使います。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②「品評会、見本市」です。名詞としての「fair」は、商品が展示されたり販売されたりする公開イベントを指します。「art fair」は美術品評会、「book fair」は書籍見本市です。①と③は形容詞としての fair の意味ですが、問題の文脈には合いません。④「運賃」は fare という別の単語です。

◆補足：アメリカ英語では、fair はお祭り（festival）のように、娯楽やコンテスト、食べ物が伴うイベントを指すこともあります。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「現れる、姿を見せる」「A rainbow appeared in the sky.」(空に虹が現れた。)のように使います。②「消える」は disappear で、dis-が否定を表す接頭辞になっています。セットで覚えると便利ですね。③「答える」は answer、④「到着する」は arrive です。

◆補足：appear には「～のように見える、思われる」という意味もあります。この意味では、seem と似たように使われます。例：He appears to be tired. (彼は疲れているように見える。)

4.

解答 ③

【解説】

正解は③「主な、主要な」です。「the main character」(主人公)や「the main dish」(主菜)、「the main street」(大通り)のように、名詞の前について使われます。①「多くの」は many、②「意味する」は動詞の mean、④「私の」は my です。

◆補足：mainly という副詞の形もあり、「主に」という意味になります。例：This class is mainly for beginners. (このクラスは主に初心者向けです。)

5.

解答 ④

【解説】

正解は④「idea」です。「That's a good idea!」(それはいい考えだね!)は、相手の提案に賛成するときの定番のフレーズです。①「ideal」は「理想」、②「image」は「イメージ、画像」、③「item」は「品物、項目」という意味です。

◆補足：「～という考え」と内容を具体的に言うときは、the idea that ...や the idea of ...ing といった形を使います。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①「市場」です。「market」は、人々が品物を売買するために集まる場所、「市場(いちば)」を指します。スーパーマーケット(supermarket)も、この market から来ていますね。「I bought fresh vegetables at the market.」(私は市場で新鮮な野菜を買いました。)②「公園」は park、③「美術館」は museum、④「印」は mark です。

◆補足：flea market は「のみの市」、fish market は「魚市場」です。経済用語として「市場(しじょう)」という意味でも使われます。

7.

解答 ②

【解説】

正解は②「庭」です。「She is working in the garden.」（彼女は庭で作業をしています。）①「公園」は park、③「農場」は farm、④「森」は forest です。

◆補足：園芸や庭仕事をすることは gardening と言います。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③「喜劇」です。日本語の「コメディ」と同じですね。「I like watching comedies.」（私はコメディを見るのが好きです。）①「悲劇」は tragedy で、反対のジャンルです。②「恐怖」は horror、④「冒険」は adventure です。

◆補足：お笑い芸人は comedian（コメディアン）と言いますね。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③「親（父または母）」です。「parent」は、母親または父親を指します。母親と父親の両方を指す場合は、複数形の parents を使います。例えば、「My parents live in Osaka.」（私の両親は大阪に住んでいます）のように使います。①「子ども」は child、②「親戚」は relative、④「祖父母」は grandparents です。

◆補足：「保護者会」は英語で “Parent-teacher meetings” と言います。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④「会議、集会」です。「I have a meeting at three o'clock.」（3時から会議があります。）①「食事」は meal、②「挨拶」は greeting、③「意味」は meaning です。

◆補足：動詞の meet（会う）に -ing がついて名詞になった形です。staff meeting（職員会議）や sports meeting（運動会）のように、他の単語と組み合わせて使うことも多いです。

11.

解答 ②

【解説】

正解は②「散歩する」です。「go for a walk」も同じ意味で使われます。「I take a walk with my dog every morning.」（私は毎朝、犬と散歩します。）①「休憩する」は take a break、③「風呂に入る」は take a bath、④「写真を撮る」は take a picture です。

◆補足：take a look で「ちょっと見る」、take a seat で「席に着く」など、take a + 名詞の形で「ちょっと～する」というニュアンスを表す表現はたくさんあります。

12.

解答 ④

【解説】

正解は④「receive」です。get よりも少しフォーマルな言葉です。例えば、「I received a letter from my friend.」（私は友達から手紙を受け取りました。）①「believe」は真実だと思うこと、②

「relieve」は問題や悪い感情を和らげること、③「deceive」は誰かをだますことを意味します。

◆補足：名詞形は reception（受付）や receipt（レシート、受領書）です。何かを受け取る人は recipient と呼ばれます。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④「地域社会、コミュニティ」です。この単語は、特定の地域に住む人々、または共通の興味や背景でつながっている人々のグループを指します。「It's important to help people in the local community.」（地元の地域社会の人々を助けることは重要です。）①「会社」は company、②「国」は country、③「委員会」は committee です。

◆補足：community center は、地域の人々が交流イベントや教室などのために集まることができる場所です。

14.

解答 ③

【解説】

正解は③「入り口」です。例えば、「The entrance to the museum is over there.」（博物館の入り口はあちらです）のように使います。①「出口」である反対語は exit です。

◆補足：動詞形は enter で、「入る」という意味です。名詞の entrance は、入る行為そのものを指すこともあります。

15.

解答 ②

【解説】

正解は②「elementary school」です。主にアメリカで使われる「小学校」の呼び方です。「My little sister goes to elementary school.」（私の妹は小学校に通っています。）①は「中学校」、③は「高校」、④は「保育園」です。

◆補足：イギリスでは「小学校」を primary school と呼ぶのが一般的です。「elementary」には「初等の、基本的な」という意味があります。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①「大人、成人」です。②「子ども」は child（複数形は children）、③「ティーンエイジャー」（13歳～19歳）は teenager、④「赤ちゃん」は baby です。

◆補足：「入場料は大人 1000 円、子ども 500 円です」のような料金表示でよく見かけますね。英語では “Admission: Adults 1,000 yen, Children 500 yen” のように書かれます。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②「助言、アドバイス」です。英語の advice は数えられない名詞なので、an advice や advices の形にはならないのが重要なポイントです。「Can you give me some advice?」（何かアドバイスをくれませんか？）①「広告」は advertisement、③「冒険」は adventure、④「装置」は device です。

◆補足：動詞の「助言する」は advise となり、スペルが-se に変わるので注意しましょう。発音も advice（アドバイス）に対し、advise（アドヴァイズ）と濁ります。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②「まっすぐに」です。「straight」は、曲がったりせずに「まっすぐに」進む様子を表す副詞です。道案内の際には「go straight」（まっすぐ行く）という形で非常によく使われます。①「右に」は right、③「左に」は left、④「ゆっくりと」は slowly です。

◆補足：straight は形容詞として「まっすぐな」という意味でも使われます。例：a straight line（直線）。

19.

解答 ④

【解説】

正解は④「stamp」です。「I need to buy a stamp for this letter.」（この手紙のための切手を買う必要があります。）のように使います。①「step」は「一歩」、②「staff」は「職員」、③「stick」は「棒」や動詞で「くっつく」という意味です。

◆補足：stamp には、動詞として「（足）を踏み鳴らす」や「（ハンコ）を押す」という意味もあります。a postage stamp と言うと、より正確に「郵便切手」を指します。

20.

解答 ③

【解説】

正解は③「公園」です。①「駐車場」は parking lot、②「部品」は part、④「暗い」は dark です。

◆補足：park は動詞として「（車を）駐車する」という意味もあります。こちらの意味も非常に重要なので、合わせて覚えておきましょう。

21.

解答 ②

【解説】

正解は②「グループ、集団」です。「a music group」（音楽グループ）や「a group of students」（生徒の集団）のように使います。①「競争」は competition、③「地面」は ground、④「成長」は growth です。

◆補足：group は動詞として「～をグループに分ける」という意味でも使われます。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③「もはや～ない、これ以上～ない」です。副詞の「anymore」は、否定文の最後に使われ、「以前はそうだったが、今ではもう～ではない」という、状態の変化を表します。問題文は「私はもはやこの町には住んでいません」という意味になります。①「まだ～ない」は not ... yet、②「いつでも」は anytime、④「何かほかに」は anything else です。

◆補足：not ... anymore は no longer を使って書き換えることができます。「I no longer live in this town.」も同じ意味ですが、no longerの方が少しフォーマルな響きになります。

23.

解答 ③

【解説】

正解は③「売り切れている」です。例えば、「The tickets for the concert were sold out in ten minutes.」（そのコンサートのチケットは10分で売り切れた）のように使います。①「特売中である」は be on sale、②「閉店している」は be closed、④「在庫がある」は be in stock です。

◆補足：単一の商品についても使えます。「I'm sorry, but that shirt is sold out.」（申し訳ありませんが、そのシャツは売り切れです）。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②「最も良い、最高の」です。「best」は good や well の最上級です。最高の品質や水準であることを意味し、通常は前に the が付きます。例文は「これは私が今まで見た中で最高の映画です」という意味です。①「より良い」は比較級の better です。③「悪い」は bad。④「テスト」は test です。

◆補足：「Do your best」（ベストを尽くしなさい）は、励ましの言葉としてよく使われます。「My best friend」（私の親友）も非常によく使われる表現です。

25.

解答 ④

【解説】

正解は④「closing」です。動詞 close（閉める）から派生し、closing は名詞や形容詞として、特に一日の営業時間の終わりを意味します。例えば、「The closing time of this store is 9 p.m.」（この店の閉店時間は午後9時です）のように使います。①「opening」は反対の開店、②「cleaning」は掃除、③「crossing」は横断を意味します。

◆補足：店が完全に廃業するときの「閉店セール」は“closing down sale”と言います。

26.

解答 ①

【解説】

正解は①「楽器」です。「musical」は「音楽の」、「instrument」は「道具、器具」という意味で、合わせて「音楽の道具」、つまり「楽器」を指します。「What musical instrument do you play?」（あなたは何の楽器を演奏しますか？）④の instrument だけでも「楽器」を指すことがありますが、「医療器具」など他の道具も指すため、musical をつけることで意味がはっきりします。

◆補足：ピアノは the piano、ギターは the guitar のように、楽器を「弾く」と言うときは、楽器名の前に the がつくのが一般的です。

27.

解答 ④

【解説】

正解は④「serve」です。「This restaurant serves delicious Italian food.」（このレストランは美味しいイタリア料理を出します。）のように使います。①「save」は「節約する、救う」、②「shake」は「振る」、③「solve」は「解決する」という意味です。

◆補足：名詞形は service（サービス）です。給仕する人、特に性別を問わない言い方として server という言葉も使われます。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④「recycle」です。①「reduce」は何かを小さくしたり量を減らしたりすること、②「reuse」は何かを再加工せずに、しばしば別の目的で再び使うこと、③「refuse」は何かを断ることを意味します。これらは有名な環境保護の「3R」ですね。

◆補足：「recycle paper」（紙をリサイクルする）や「recycle bottles」（びんをリサイクルする）のように使います。

29.

解答 ②

【解説】

正解は②「～回、～度」です。「time」は「時間」という意味でよく知られていますが、数えられる名詞として使うと「回数」を表します。問題文は「私は広島に3回行きました」という意味です。①「時

間」や③「時刻」も **time** の重要な意味ですが、この文脈では②が最も適切です。④「時代」は **era** や **age** が使われます。

◆補足：one time は **once**、two times は **twice** という特別な言い方がありますね。3 回以上は **three times**, **four times**...となります。

30.

解答 ④

【解説】

正解は④「**theater**」です。例えば、「**We went to the theater to see a new movie.**」（私たちは新しい映画を見に映画館へ行きました）のように使います。①「**museum**」は博物館、②「**stadium**」はスタジアム、③「**library**」は図書館を意味します。

◆補足：イギリス英語では、しばしば **theatre** と綴られます。映画館を特定して言う場合は、**movie theater**（米英語）や **cinema**（英英語）と言えます。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「**safe**」です。「**Please keep your valuables in a safe place.**」（貴重品は安全な場所に保管してください。）②「**same**」は「同じ」、③「**soft**」は「柔らかい」、④「**sure**」は「確かな」という意味です。

◆補足：反対の「危険な」は **dangerous** です。名詞形は **safety**（安全）です。**Keep safe.**で「安全に気をつけてね」という挨拶にもなります。

32.

解答 ③

【解説】

正解は③「**enter**」です。「～に入る」という意味の動詞です。**go into** と似た意味ですが、**enter** は後ろに前置詞をつけずに直接場所を表す言葉が続くのがポイントです。「**Please do not enter this room.**」（この部屋に入らないでください。）①「**exit**」は「～から出る」という反対の意味、②「**open**」は「～を開ける」、④「**order**」は「～を注文する」です。

◆補足：名詞形は **entrance**（入り口）です。キーボードのエンターキーもこの **enter** ですね。

33.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を共有する、分け合う」です。「Let's share this pizza.」(このピザを分け合って食べよう。)のように使います。また、考えや情報を「共有する」という意味でもよく使われます。①、②、④はそれぞれ全く意味の異なる動詞です。

◆補足：share A with B で「A を B と共有する」という形でよく使われます。SNS で情報を「シェアする」というのも、この share から来ていますね。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④「(車を)運転する」です。例えば、「My father drives to work.」(父は車を運転して職場に行きます)のように使います。①「乗る」は ride、②「歩く」は walk、③「飛ぶ」は fly です。

◆補足：名詞としても「ドライブ」という意味で使われます。「Let's go for a drive.」(ドライブに行こう)。過去形は drove、過去分詞形は driven という不規則動詞です。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②「動く、～を動かす」です。「Please move your chair.」(あなたの椅子を動かしてください)のように使います。①「触る」は touch、③「止まる」は stop、④「座る」は sit です。

◆補足：「move」には「引っ越す」という重要な意味もあります。例：「We moved to this city last year.」(私たちは去年、この町に引っ越しました)。名詞形は movement (動き) です。

36.

解答 ①

【解説】

正解は①「～に勝つ、～を勝ち取る」です。「win」は、競争で一番になったり、賞品を得たりすることを意味します。例えば、「Our team won the game.」(私たちのチームは試合に勝った)や「He won the first prize.」(彼は一等賞を勝ち取った)のように使います。②「～を失う」は lose で、win の反対語です。

◆補足：過去形と過去分詞形はどちらも won です。勝者は winner と言います。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①「after school」です。「after」（～の後で）と「school」（学校の授業）が組み合わさって、「放課後」という意味になります。「What do you do after school?」（あなたは放課後、何をしますか？）②「before school」は「授業が始まる前に」、③「in the evening」は「夕方に」、④「during class」は「授業中に」という意味です。

◆補足：「放課後の活動」は after-school activities と言います。クラブ活動（club activities）もその一つですね。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「visit」です。①「invite」は誰かをどこかへ招待する、②「invent」は新しいものを発明する、④「involve」は誰かを巻き込む、という意味です。

◆補足：名詞形も visit です。「Thank you for your visit.」（ご訪問ありがとうございます）。訪問する人は visitor です。

39.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を意味する、～のつもりで言う」です。例えば、「What does this word mean?」（この単語はどういう意味ですか?）。のように使います。また、「I didn't mean to hurt you.」（あなたを傷つけるつもりはありませんでした）のように、「意図する」という意味もあります。②「～を会う」は meet、③「～をきれいにする」は clean、④「～を溶かす」は melt です。

◆補足：過去形と過去分詞形は meant です。名詞形は meaning（意味）です。

40.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を集める」です。例えば、「My hobby is collecting stamps.」（私の趣味は切手を集めることです）のように使います。②「～を正す」は correct、③「～をつなぐ」は connect、④「～を調理する」は cook です。

◆補足：名詞形は collection です。「He has a large collection of old coins.」（彼は古いコインの素晴らしいコレクションを持っています）。物を集める人は collector です。

41.

解答 ③

【解説】

正解は③「イタリア」です。「Italy」はヨーロッパにある国の名前ですね。首都はローマ（Rome）です。ピザやパスタなど、おいしい料理で有名です。①「イギリス」は the U.K. や Britain、②「インド」は India、④「アイルランド」は Ireland と言います。

◆補足：Italy の形容詞形は Italian です。「イタリアの」や「イタリア人」、「イタリア語」を意味します。この関係性もセットで覚えておきましょう。

42.

解答 ④

【解説】

正解は④「space」です。主な意味が二つあります。一つは利用可能な空いている場所（空間、スペース）、もう一つは惑星や星々が存在する地球大気圏外の領域（宇宙）です。例えば、「Is there enough space for my bag?」（私のカバンのためのスペースはありますか？）や「I want to travel to space someday.」（いつか宇宙へ旅行したいです）。①「place」や③「area」は一般的な場所や地域を指します。②「room」は「部屋」や「余地」を意味します。

◆補足：spaceship は宇宙船、parking space は駐車スペースです。

43.

解答 ②

【解説】

正解は②「website」です。①「home page」はウェブサイトのメインページ、③「web page」はウェブサイト上の単一の文書、④「blog」は個人が定期的に出来事やトピックについて書くウェブサイトの一種です。

◆補足：ウェブサイトのアドレスは URL（Uniform Resource Locator）と呼ばれます。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③「prize」です。例えば、「The first prize is a trip to Hawaii.」（一等賞はハワイ旅行です）。のように使います。①「price」は何かを買うために支払わなければならない金額です。②「present」は贈り物です。④「praise」は称賛や賛美の言葉を意味します。prize と price を混同しないように注意してください！

◆補足：ノーベル賞（The Nobel Prize）は、世界で最も有名な賞の一つです。

45.

解答 ②

【解説】

正解は②「～の近くに」です。close to は、物理的な距離だけでなく、関係性や程度の近さを表すこともできます。③「～を閉じる」は動詞の close、④「～の上に」は on top of です。

◆補足：close を「近い」という意味の形容詞として使う場合、's'は/s/（スの音）のように発音します。「閉じる」という動詞の場合は、/z/（ズの音）のように発音します。

46.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を売る」です。①「～を買う」は buy で、反対の意味の言葉です。③「～を送る」は send、④「～を話す」は tell です。

◆補足：「sell」の過去形・過去分詞形は sold です。不規則動詞なので注意しましょう。「be sold out」（売り切れ）という表現は、この過去分詞形が使われています。

47.

解答 ④

【解説】

正解は④「teach A B」です。動詞「teach」（教える）は、「A（人）に B（教科など）を教える」という形で使われます。A に「人」、B に「教える内容」が入ります。「Mr. Sato teaches us English.」（佐藤先生は私たちに英語を教えてください。）①は「話す」、②は「見せる」、③は「尋ねる」という意味の動詞です。

◆補足：この文は、前置詞 to を使って teach B to A の形に書き換えることができます。「Mr. Sato teaches English to us.」も同じ意味です。

48.

解答 ③

【解説】

正解は③「教室」です。「class」（授業）と「room」（部屋）がくっついた単語で、学校で授業が行われる「教室」を指します。「Please be quiet in the classroom.」（教室では静かにしてください。）①「体育館」は gym、②「図書館」は library、④「校庭」は schoolyard や playground です。
◆補足：classmate（クラスメート）も class を使った身近な単語ですね。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を学ぶ、習得する」です。「learn」は、勉強や経験を通じて知識や技術を「身につける、学ぶ」ことを意味します。「I want to learn how to cook.」（私は料理の仕方を学びたいです。）②「～を教える」は teach で、反対の意味の言葉です。③「～を去る」は leave、④「～を貸す」は lend です。

◆補足：learn の過去形・過去分詞形は learned ですが、イギリス英語では learnt という形も使われます。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②「演者、出演者」です。動詞の perform（演じる、演奏する）から来ています。①「観客」は audience、③「監督」は director、④「案内人」は guide です。

◆補足：「大道芸人」は a street performer と言います。公演自体は performance と呼ばれます。
